

くりはらの大豆だより

栗原農業改良普及センター

令和2年度 第2号 令和2年7月31日発行

TEL 0228-22-9404

大豆栽培の今後の管理のポイント

- 天候に合わせた湿害・干害対策
- 雑草防除
- 適期の病害虫防除

気象経過

- ・6月：梅雨入り（東北南部速報値・6月11日）前は、降水量かなり少ない。
- ・7月：気温は上旬高く、中旬低い。期間を通して日照時間少なく降水量多い傾向。

生育状況 – 生育量は平年より少なく、開花期も遅れる見込み –

■生育調査ほ

- ・6月下旬以降の低日照や降雨等の影響で、平年より生育量が少ない（ミヤギシロメ）。

生育調査結果（7月27日調査）

品種 地域		播種期	主茎長	主茎節数	分枝数	開花期
タンレイ 志波姫 刈敷	本年値	6/3	72 cm	13.4 節/本	1.3 本/本	未
ミヤギシロメ 若柳 三田鳥	本年値	6/2	38 cm	8.7 節/本	0.3 本/本	未
	前年差	4日早	+4	-0.1	-0.4	前年8/8
	平年差	2日早	-1	-2.3	-0.7	平年8/5

※タンレイは、令和2年より生産者が変更となっているため、本年値のみ。

※平年差は、過去5年（H26,27,28,30,R1(H29除く））の平均値との差とする。

■管内全体

- ・6月上旬の少雨・乾燥，7月上旬以降は曇雨天が続き，出芽不良や生育ムラのあるほ場が例年より目立つ。過湿による生育不良も散見される。
- ・中耕培土の遅れ等により，雑草が目立つほ場が多い。

今後の管理

中耕・培土

- ・作業晩限は，開花期10日前までである。湿害を受けたほ場では，通気性改善による生育回復が見込まれるので，可能な限り実施する。

追肥

- ・ 湿害などにより生育が不良の場合には、生育を回復させるために、硫酸などの速効性肥料の施用が有効である。施用量は窒素成分で 3 kg/10a程度までとする。

湿害・干害対策

開花期以降は、大豆の養水分の吸収が多くなるので、土壌水分を適度に保って、大豆の根と根粒菌の活性を高く保つことが重要である。

湿害対策 降雨が続く場合に実施

- ◇ 暗きよを開けて、地下排水を促す。
- ◇ 大雨のあとや・長雨のときは、排水溝が詰まっていないか、明きよに水が溜まっていないか確認し、必要に応じて修繕する。

干害対策 晴天が続き、土が白く乾きそうな場合に実施

- ◆ 暗きよを閉じて、水分保持に努める。

雑草防除

雑草の種子を作らせないために、手取りを含めた早めの防除が必要である。

アレチウリ・帰化アサガオ類対策

- ◆ 吊り下げノズル等を使用した畦間散布等が可能な場合は、大豆に絡みつく前に早めに散布する。ノズルより高く伸びた雑草は、事前に手取りする必要がある。
- ◆ 吊り下げノズル等がない場合も、可能な限り早めに手取り除草を実施する。
- ◆ 畦畔の雑草は、花が咲いたらすぐに草刈りや除草剤で防除する。

病害虫防除

病害虫防除のポイント

- ◆ ミヤギシロメ、タチナガハは、マメシンクイガ等のチョウ目幼虫防除を優先する。
- ◆ タンレイは、連作ほ場ではマメシンクイガと紫斑病の防除を、転作初年目のほ場では紫斑病の防除を優先する。

主要病害虫の薬剤散布による防除のポイント

病害	紫斑病	開花期後20～40日に防除 * タンレイは2回必須 他は1回で十分 ・同一剤の連用は耐性菌が発生しやすくなるので避ける
子実害虫	マメシクイガ	1回目: 8/25～9/5, 2回目: 1回目の7～10日後に防除 * 発生時期は毎年ほぼ同じ→スケジュール防除 * 連作4年目以降, 多発ほ場で防除が必要
	フタスジ ヒメムシ	8月下旬～9月上旬に防除 * 作付初年目から発生が多い ・クルーザーMAXXを使用している場合は発生が少ない
	タイズヤムシガ	幼若幼虫が生長点付近の葉を綴り合わせているときに防除
	カメムシ類	他の主要害虫との同時防除
吸汁性害虫	ジャガイモヒゲ ナガアブラムシ	葉の黄化・褐変が見られ, 多発する場合に防除 (8月～9月)
食葉性害虫	オオタバコガ ハスモンヨトウ	8月以降に, 発生が見られたら防除 * 幼若幼虫のうちに防除 (葉を食うのが早い) * ハスモンヨトウは, 初期症状の白変葉が見られたら防除
	ウコンノメイガ	幼虫による葉巻が目立つ場合, 7月下旬～8月上旬に防除
	その他	葉面積で2割が食われたら防除

- ・マメシクイガ等のチョウ目幼虫の防除にプレバソフフロアブル5を使用する事例が多いが, カメムシ類に登録がない点に注意が必要である。

アオクサカメムシ



ジャガイモヒゲナガアブラムシ



ウコンノメイガによる葉巻症状



オオタバコガ



ハスモンヨトウによる白変葉



ツメクサガ



農薬を使用する際は, 最新の登録情報を確認し, 周辺への飛散に十分気をつけましょう